

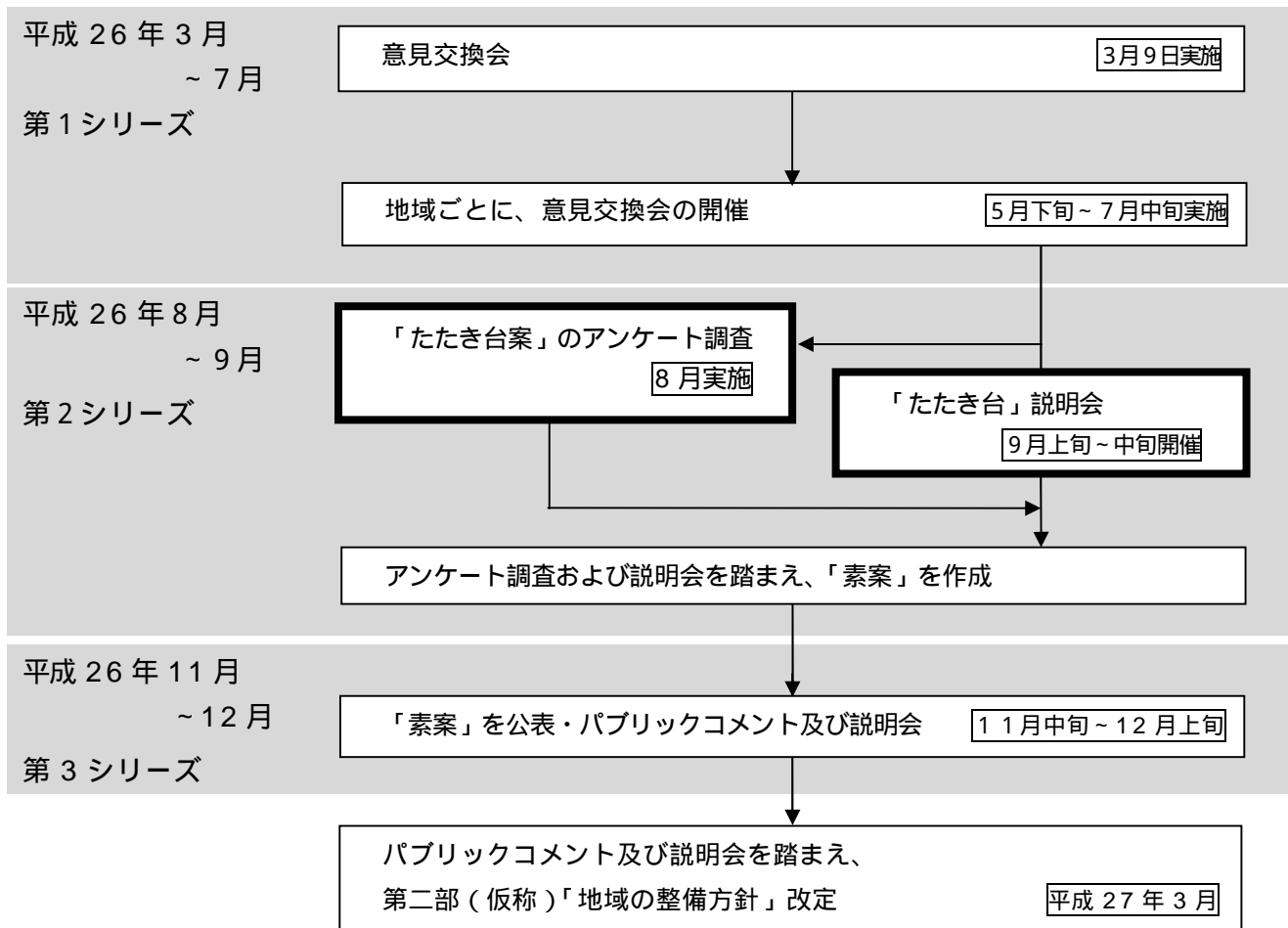
(仮称)「地域の整備方針」たたき台案のアンケート 調査結果及び たたき台説明会の開催結果について

目 次

1．改定スケジュール	2
2．アンケート調査結果	3
3．区のホームページ閲覧による意見	12
4．たたき台説明会の開催結果について	13

1 . 改定スケジュール

意見を聴取する場を段階的に設けることとし、3シリーズ行う
 第1シリーズの目的は、「たたき台」を作成するための意見集約、意見交換
 第2シリーズの目的は、「素案」を作成するための意見集約
 第3シリーズの目的は、「素案」に対する区民意見提出手続き



2 . アンケート調査結果

2 - 1 . 調査の概要

(1) 調査の目的

世田谷区都市整備方針 第二部(仮称)「地域の整備方針」の改定にあたり、「たたき台案」について、区民意見を伺い、素案に反映することを目的として、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法

区民アンケートは、平成26年8月1日現在、満16歳以上の全区民を対象に、5つの総合支所管轄単位で、300名、計1,500名を無作為に抽出し、郵送による配布・回収で行いました。

発送日は、平成26年8月11日(月)で、回収期限は、平成26年8月26日(火)

(3) 回収状況

全区合計の有効配布数1,495票に対し、総回収数289票、総回収率19.3%です。

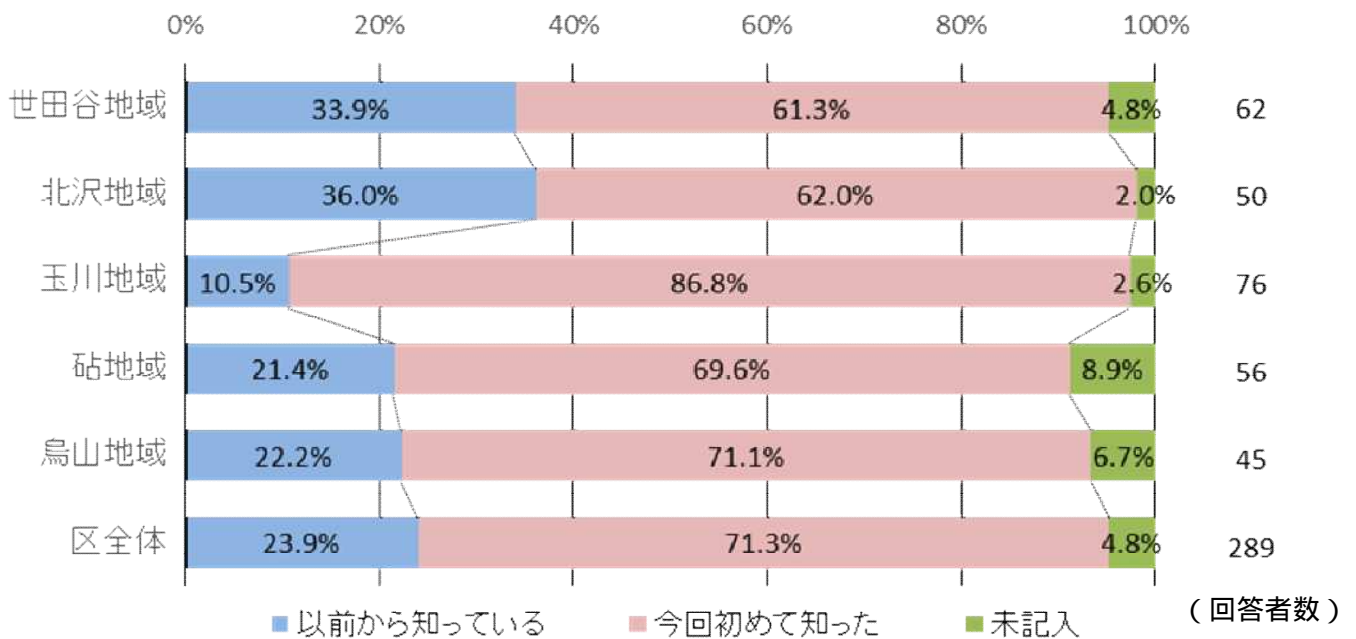
	世田谷 地域	北沢 地域	玉川 地域	砧 地域	烏山 地域	合計
1 . 当初配布数	300	300	300	300	300	1,500
2 . 無効数(戻り)	1	2	0	2	0	5
3 . 有効配布数	299	298	300	298	300	1,495
4 . 回収数	62	50	76	56	45	289
5 . 回収率	20.7%	16.8%	25.3%	18.8%	15.5%	19.3%

(4) 回答者の都市整備方針の認知度

都市整備方針を「以前から知っている」と回答した割合は、全区では約24%です。地域別では北沢と世田谷地域が30%を超えています。

参考まで、平成24年9月に実施した区民アンケートにおいて同様の設問をしましたが、このとき「以前から知っている」と回答した割合は約25%でした。今回とほとんど差はありません。

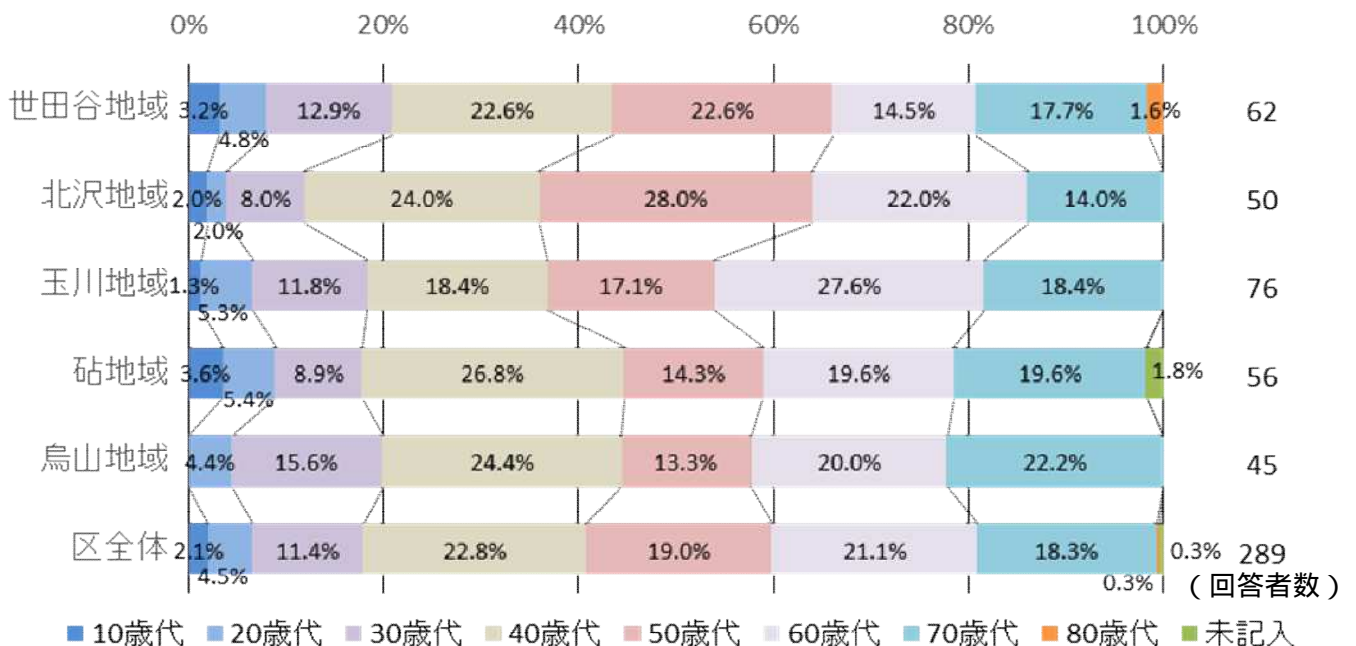
都市整備方針の認知度



(5) 回答者の年齢

回答者の年齢は全区では、最も多いのは40歳代の23%で、次いで60歳代の約21%です。全体的に40～70歳代の占める割合が高く、この年齢層で約81%を占めます。なお、10～20歳代の占める割合は約7%です。

回答者の年齢

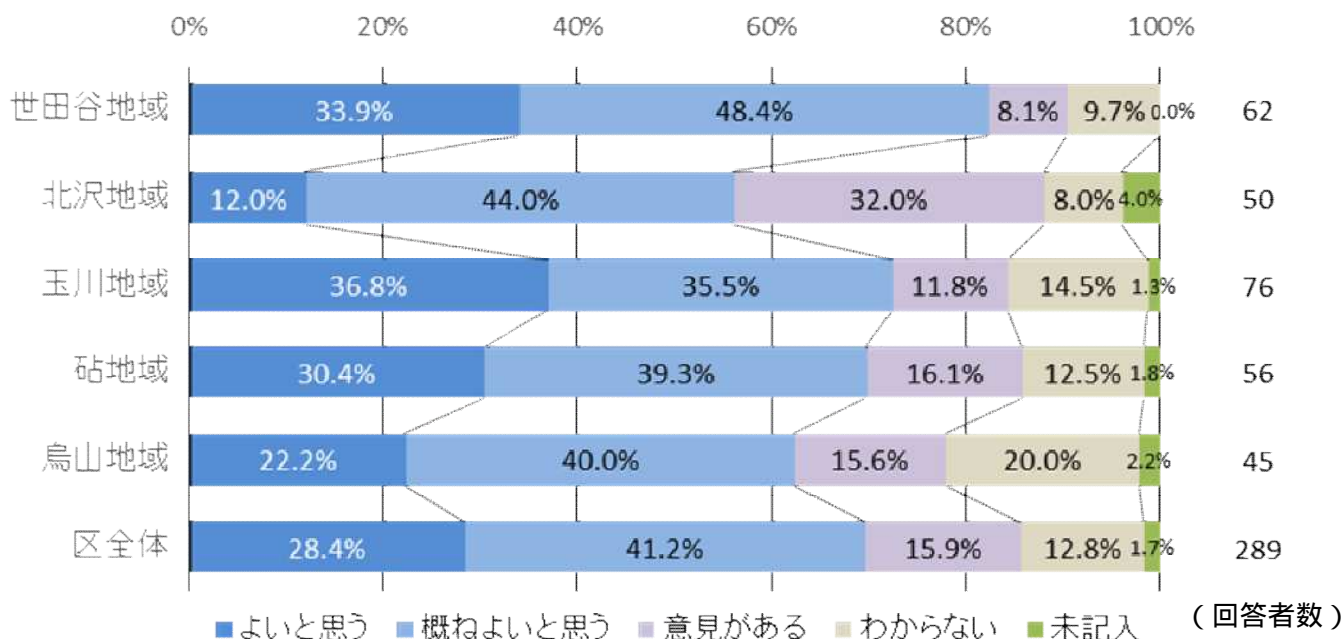


2 - 2 .「たたき台案」の各章に対する評価に関する結果

(1) 第2章「目標と土地利用の方針」に対する評価

第2章について「よいと思う」と「概ねよいと思う」と回答した割合は、全区では約70%です。地域によって違いがあります。

「目標と土地利用の方針」に対する評価

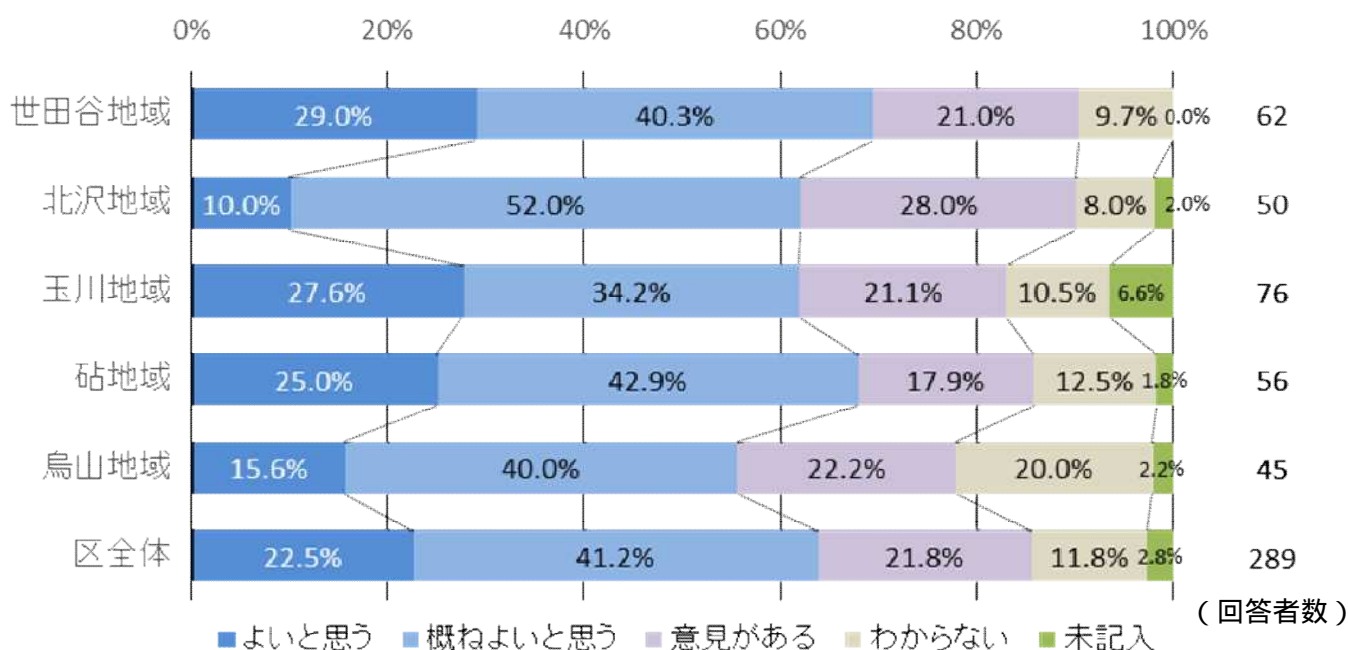


(2) 第3章「地域のテーマ別の方針」に対する評価

第3章について「よいと思う」と「概ねよいと思う」と回答した割合は、全区では約64%です。

なお実際の意見数を、テーマ別に比較すると、全区では、最も高いのはテーマ、テーマでそれぞれ約16%です。最も低いのはテーマで約10%です。

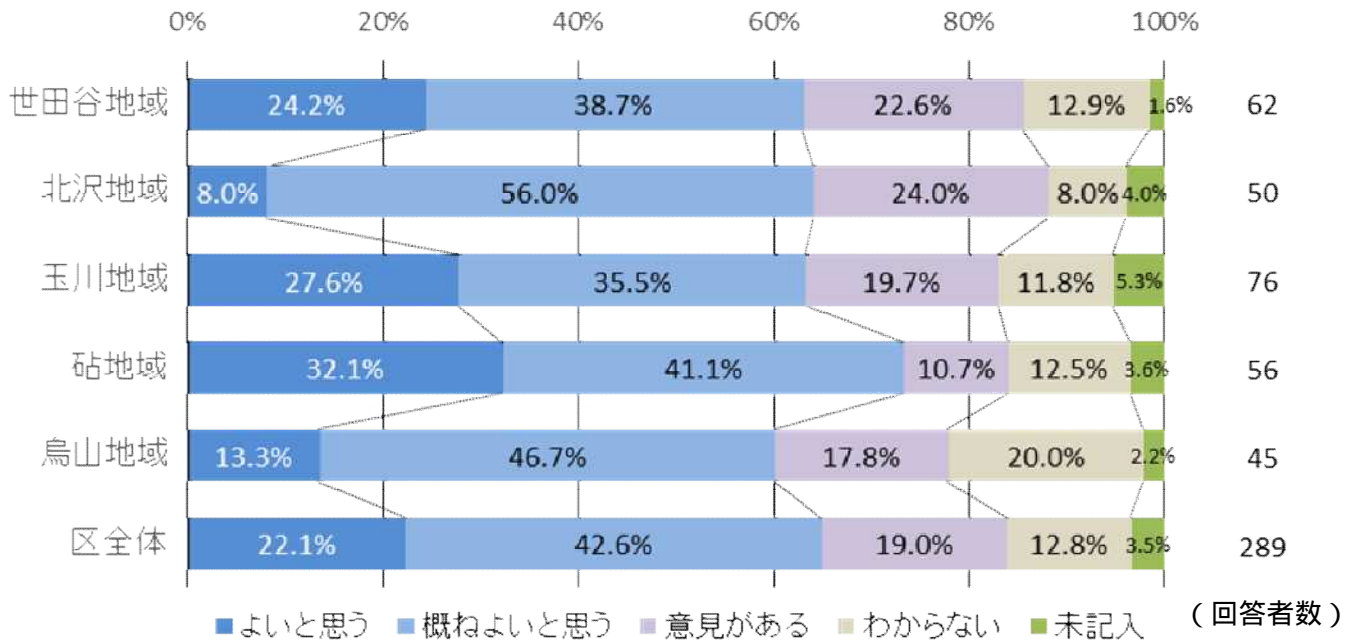
「地域のテーマ別の方針」に対する評価



(3) 第4章(仮称)「アクションエリアの方針」に対する評価と意見数

第4章について「よいと思う」と「概ねよいと思う」と回答した割合は、全区では約65%です。地域別で最も高いのは砧地域で約73%です。

(仮称)「アクションエリアの方針」に対する評価



2 - 3 . 地域別の「たたき台案」アンケートに対する主な意見

(1) 世田谷地域

第2章の「目標～地域のまち姿～」に対する意見

- ・計画期間が20年となっているので、過去20年の動きから予測して考えた限りで、常識的な内容と思われる。しかし、計画は50年、100年先を考えて立案すべきで、例えば、今後日本の人口は相当減少することを考えると、世田谷区は今後人口を減少させる方向で立案すべきである。
- ・高齢化、老齡化に対応した視点を加味したまちの姿を描き込んで頂きたいです。
- ・みどり等は少なくとも平均の24.6%上回って頂きたいです。

第2章の「地域の骨格と土地利用の方針」に対する意見

- ・災害対策拠点の意味が不明。災害対策のための機器物品の保管庫ならば、交通の便のよいところであり、区役所周辺は不適。区役所は、災害対策の指令塔である。
- ・区役所周辺は、商住複合地区となっているが、商業には不適。行政地区とすべき。

第3章「テーマ別の方針」に対する意見

- ・近年気候の変化で激しい雨等、天気の様子も変わってきている。特別警報も設定された。この点についても具体的に考えていく必要があるのではないか。
- ・受け身のみどり化（誘導等）ではなく、用地確保等積極的に区があたり、公園を拡大・新規創出しなければ、みどり豊かなまちにはならない。
- ・コミュニティ活動の参加者が減少していることに対し、考え方を整理する必要がある。
- ・街なみは、箱型のどこにでもあるようなものとせず、何らかのデザイン性のあるガイドラインを作る。
- ・世田谷線、バス停の公共交通の利便性を高める。

第4章（仮称）「アクションエリアの方針」に対する意見

- ・1- 三軒茶屋駅周辺地区について。三軒茶屋駅付近の商店街が老朽化しており、また低層の建物で密集しているため、防災面だけでなく、駅前顔（世田谷区の随一の繁華街）としてふさわしい再開発を早急に進めていただきたいです。人口86万人の街としては魅力がない（古くてダサイ、活ないイメージがある）。住居地域は良いが商業地域は歩道ブロック、信号のデザイン等改善すべき箇所多数あり。
- ・千歳船橋駅は各駅停車駅の中で乗降者が多い駅で、移動、利用の多さをメリットとした地区づくりを考えてほしい。学校や保育園の近くに子どもを預けることが可能な施設の充実。駅の近くに有れば、働く若い人が増えると思う。
- ・アクションエリアが、世田谷地域の北側に偏っている。アクションエリア以外が無秩序な開発とならないよう、より全般的なエリアの方針を建てる必要がある。"

（仮称）「地域の整備方針」の全体に対する意見

- ・安全でみどり豊かで活気があり、安心して暮らせることは誰もが希望することですが、高齢者にとって、やさしい思いやりのあるまちづくりを常に心がけていただくようお願いいたします。
- ・世田谷区、まだ路地を入ると、不安な建物。数年前の東北地震から異常な気象を思うと、東京も不安。なお、世田谷、人とのつきあいの温かさがイメージの中、昔ながらを残しつつ整備。大変だと思えます。シンプルな整備でよいと思えます。

(2) 北沢地域

第2章の「目標～地域のまち姿～」に対する意見

- ・今後ますます高齢化していく中、地域の拠点づくりの強化。
- ・京王線を挟んだ南北の地区、近隣商業、その他サービスを受けられるところが少なく特に代田橋～下高井戸間。年配者、単身者にとって、買物等日常生活を下北沢、笹塚、新宿等に求めなければならないので、充実した生活が営めるような環境が必要。

第2章の「地域の骨格と土地利用の方針」に対する意見

- ・補助54号線の整備（横軸が生活交通軸にないため）。
- ・住宅地、低層住宅地区には新たな商業施設は不要。従って、そのような土地利用を誘導する住宅地区、低層住宅地区における新たな地区幹線道路の整備は不要。
- ・赤堤は宅地の細分化が進み、年齢層も変化してきているが、商店街がその変化にうまくついていっていない。このため、「駅周辺商業地区」の土地利用については、居住者の年齢層の変化も考慮の上進めていただきたい。

第3章「テーマ別の方針」に対する意見

- ・比較的広い戸建の跡地が100㎡以下に細分化され、3階建てにした建売物件が急に増加しているように思います。これでは安全で災害に強いまちと言えない過密地です。早い段階で何らかの規制が必要ではないでしょうか。
- ・ここ20年で庭木のある住宅は大幅に減っています。古い家が売りに出ると、そこには数件の家が建ち、庭木等ほとんどない家ばかり。地面の見える家はない状況です。建ぺい率は守られているのでしょうか（駅から徒歩圏内の住宅は特に激しい状況です）。整備地域における建築条件の強化を願いたい。
- ・サインが少なすぎる。例えば、現在下北沢にはたくさん外国人が観光で来ているのに、どこを見ていいかさまよっている感じ。親切なガイドを計画してほしい。
- ・地元企業、大学との連携、交流の推進
- ・世田谷は東西の交通機関が中心で、南北に区役所及び出張所、行政サービス受けるための移動手段もっと考えてもらいたい。

第4章（仮称）「アクションエリアの方針」に対する意見

- ・2- 下北沢駅周辺地区に対して、せまい街にいかにして人の流れをつくるかは大変かと思うが、古きものを残しつつ今に合った形に都市計画していくべき（自転車の整備も品川駅前の自動格納駐輪場のように、小田急電鉄と共に進めると良いのでは）。
- ・エリアが大きすぎてアクションが見えないものもある。2- 代田地区とか。

（仮称）「地域の整備方針」の全体に対する意見

- ・アスファルトとコンクリの住宅街は厚塗りの化粧同様、息がつまる、ヒートアップもひどい。土を露出させると、空気に水分が含まれ、気温が下がり、自然の風邪も吹く。緑はプランターではダメ。木かげをつくる樹木が必要。銀座のようにハチミツが採れると良い。
- ・50代後半の区民として、また、この整備地区に住む区民として、この30年早期実現を常に願ってきました。日常の介護等のため、環七や補助154号線（完成部分）を頻繁に利用するものとして、道路網の整備による安全運転（道路条件改善による）と運転時間の短縮はとても助かります。
- ・全体として良く書かれているとは思いますが、今後どのように具体的に実現していくのか、次のお知らせに期待したいと思います。

(3) 玉川地域

第2章の「目標～地域のまち姿～」に対する意見

- ・玉川地域に「農のある風景」がそれ程残っているとは思いませんが、全体的に風景（景観）を「創造していく」という気概を感じさせる文章を加えた方が前向きだと思います。例えば、街路樹の適切な維持管理に基づいた道景観の創出など
- ・商店街がどんどん賃貸アパート化している。商店街沿道の土地に対しては、店舗の附置を義務化するべき。一度アパートになると、二度ともとは戻せなくなる。
- ・自然風景を大切に。すべてを人工的にしてほしくない。

第2章の「地域の骨格と土地利用の方針」に対する意見

- ・災害対策拠点が等々力・尾山台駅周辺のみは少し心もとないと思います。用賀・桜新町駅から北側の地域には遠い距離かと思います。この地域にもう1拠点増やすのはいかがでしょうか。
- ・奥沢・自由が丘駅周辺について、オレンジ破線で地域生活拠点に設定しているのは良いと思いますが、ここはぜひ、駅周辺商業地区としてピンク色でつなげてもらいたい。
- ・上野毛駅周辺ももっと道路整備をしないと20年たっても今のままで何もかわりません。もっと道路整備に力を入れて下さい。

第3章「テーマ別の方針」に対する意見

- ・“水害を抑制する”について。昨今の気象の変化を考えると河川の近くに限らず広範囲に被害が及んでいる。住宅等の建築に係る基準も見直すなど条例の改正が必要では。
- ・東急大井町線、東横線、目黒線等東西には走っていますが、南北に移動の場合不便です。お年寄りがせっかくフリーパスをいただいても、乗るバスの間隔が少なく不便でタクシー利用となるようです。
- ・活力のある街づくりの為には活力のある商店街が必要です。ただ人を集める施設を作るだけではダメです。もっともっと検討して下さい。
- ・「居住・自然環境の調和」のため電柱撤去を望む。近年、様々な通信網の配線が増加し、地域の美観を損ねていると思う。人々の通行、特に障害者の方の移動を困難にしている所が目につく。「みどりを増やすこと」ばかりでなく、街の景観も大切だと思う。
- ・大井町線の立体化について、環境への影響を説明していただくことが大切だと思います。

第4章（仮称）「アクションエリアの方針」に対する意見

- ・3- 自転車利用環境の向上については、同時に道路の整備が進むことを希望します。
- ・大井町線の立体化、特に3- 、高齢者にとっては大変恐怖の踏切です。死亡する方も増え、朝の通勤ラッシュに遮断機を押し上げくぐる人も。また、都市大学の学生の乗り降りの多い事、常に危険を感じています。早期に願いたい。

（仮称）「地域の整備方針」の全体に対する意見

- ・ちょっとした公園や遊び場がないので、子どもにとってはあまり楽しくない場所（奥沢4丁目、3丁目付近）だと思います。もう少し増やしてほしいです。
- ・概要として問題なく良くできていると思います。具体案もすでにできていると思いますが、それらも提示していただくと、もう少し夢の実現性が描け、私たち住民の関心と協力度も上がるのではないのでしょうか。今後はもう少し注意して事業を見るようにします。
- ・転勤して約8年になりますが、自然が多いこの街が大好きです。さらにいい街になることを楽しみにしています。

(4) 砧地域

第2章の「目標～地域のまち姿～」に対する意見

- ・砧地域の目標である「みどりとゆとりある街なみ」の姿に反すると思われ、船橋地区には小中学校、神社・寺・特養ホーム等あり今ある低層住宅の環境を配慮していただきたいと思えます。今以上に緑を減らさず、建ぺい率を変えないようお願いいたします。"
- ・自然災害に強い街づくりやみどり豊かな街を目指すことには大賛成です。

第2章の「地域の骨格と土地利用の方針」に対する意見

- ・概ねよいと思うが、生活拠点はどれぐらいのカバーエリアを想定して位置づけるのかがはっきりしない。地域住民の日常生活にとって必要な商業、医療の集積する地区は、今後高齢化社会の進展に伴いそのカバーエリアは小さくなっていくと思われ、既存の商業、業務機能が集積している地区のほかに新たな地区生活拠点をある程度想定すべきと考える。
- ・「みどりの拠点」は必要だと思うが、世田谷区全域にもっと緑を増やして欲しい。住宅地も商業地も緑の中に存在し、夏は涼やかで冬は暖かい、省エネな区にしてほしい。

第3章「テーマ別の方針」に対する意見

- ・ハード面の整備は必要だが、人的つながり・ソフト面（病人の避難支援、安全確認（安否）等も併せて「災害に強いまちをつくる」ことが求められる。
- ・東名ジャンクション予定地周辺は現状では緑化が区内でもとぼしい地域に感じられる。ジャンクションの事業化を機に計画にある緑化を一層推進してもらいたい。"
- ・祖師ヶ谷大蔵駅周辺地区は「にぎわいに満ちた拠点」でよいが、ウルトラマン商店街は細い道に人、自転車、車、バスまで行き交うので危険に感じるが、改善は難しいか。
- ・農地保全について～たまたま開発からとり残されているような農地でも、スプロール化に見えないような魅力づくりを考えてもらえれば。
- ・自転車利用者のルールを守るような道路づくり、商店街の路肩への商品はみ出し展示など歩行者の安全性を

第4章（仮称）「アクションエリアの方針」に対する意見

- ・道路整備等、用地買収が進まずの箇所も多く計画通り進めることは困難と思います。余り計画拡げず、3～5年の中期計画で絞り込んだ方が、町づくりが進展するのではないかと思っています。
- ・概ねよいと思うがこの計画通りに事業、何をどのように進めるのですか。わかりません。

（仮称）「地域の整備方針」の全体に対する意見

- ・総じてインフラ整備計画であり、実現に努力して欲しい。一つ人的資源の活用も地域整備の一環に入れるべし。インフラだけ良くしても区民・人心が明るくなる訳ではないと思う。
- ・このようなアンケートに回答する機会をいただきありがとうございました。全体としてよくできていると思いますが、これから高齢化社会となっていくうえで、世田谷区の利便性が高まるよう計画を策定していただきます。
- ・美しく活気があり安全な街づくりのためには、明確な整備方針が不可欠であり、全体的にはとても良いと思う。しかし、あまり型通りの規則で柔軟な運営がなされないようでは、改築や新規参入をためらい、規則が強すぎてしまうこととなるのでバランスのとれた運用となるように配慮してほしい。

(5) 烏山地域

第2章の「目標～地域のまち姿～」に対する意見

- ・なんでも新しくするのではなく、古い所もいかす町でもあってほしいと思います。
- ・具体性に欠け分かりにくい。京王線連続立体交差事業についても具体的にどこからどこまで、いつ、どのような形で成されるのか、全く記述がない。大規模な住宅団地の建て替えは必要とは思いますが、今のような広大な土地を「関係者以外、車両通行禁止」としているのは大変不便で、周辺住民からは迷惑でしかない。もっと、周辺住民との調和をはかった住宅形態にしてもらわないと困る。

第2章の「地域の骨格と土地利用の方針」に対する意見

- ・商店街の力が強いのか、新しく魅力的なお店が定着せず、駅周辺、住宅街ともに不便である。歩きやすい買物しやすい街づくりをして欲しい。駅近くまでは自転車で入れないようにして欲しい。駅から3分程度のところに大きな駐輪場や、駐車場の整備をして欲しい。
- ・烏山総合支所は、災害対策拠点としては小さすぎる。周辺商業地区を含めた再開発、もしくは別の所への立地を考えるべきである。
- ・土地利用の区分をした箇所に関しては、もっと極端に区分ごとに特化した方がよいと思われる。例えば、低層住宅地区の中に飛地の様に住宅地区があったりするが、徹底して低層住宅地区としたり、商業だけに特化する地区を作ることを目指すべきと考えます。

第3章「テーマ別の方針」に対する意見

- ・地先道路の整備は強くお願いしたい。個人の利益ばかりを主張する利己的な地権者、住人には公共の利益を図るべく接してほしい。そうでないと公共に理解を示す人々が逆に不利益を被り続けることになるからだ。
- ・高層建物が風情をなくすので、高層建物を建てるエリアを限定し、広範囲に低層地区が広がるような、かつての面影を残せる環境を作ること考えるべきだと思います。
- ・箱モノは十二分にあると思うので、それをどういかにするかをもう少し具体的に考えるべきだと思います。学校の空施設を一部高齢者向け施設に利用するなど、有効活用すべきです。
- ・烏山川はどこにあるのかさえ定かではない。もう少し景観整備をお願いしたい。
- ・コミュニティバスなどの活用を考えてほしい。小田急線や田園都市線と、京王線沿いの町の差が大きいのではないかと思う。

第4章(仮称)「アクションエリアの方針」に対する意見

- ・駅周辺ごとではなく、京王線沿線の一つのエリアと考える様にした方が無駄(重複や冗長性)を省けると思います。また、地域を特色ある形にするのであれば、規制、整備、計画すべきと考えます。
- ・施設を充実するのはステキだと思いますが、維持管理をする事も考えて作って下さい。

(仮称)「地域の整備方針」の全体に対する意見

- ・全体的に具体性に欠け、わかりにくい。理想の言葉ではなく、空間が見えてくる方針を伝えて欲しい。
- ・烏山地域の整備方針のたたき台案はまことに詳しく、精緻に作られており感心しました。この種の地図も初めてで参考になりました。個人の素人で意見など回答できませんが、たたき台案には大賛成で敬意を表します。要は資金の調達と整備の優先順位をうまくつけて実行に移されんことを祈ります。よろしく願いいたします。

3. 区のホームページ閲覧による意見（地域別のたたき台案）

（1）世田谷地域

- ・「農大通り」では、電柱・電線が非常に多く、安全で快適な買い物の妨げとなっており、また災害発生時にとても危険を感じる為、拡幅整備のみならず、全面電線地中化を実施して頂きたい。（テーマ、 ）
- ・経堂駅周辺では、世田谷地域の地域生活拠点としての活性化を図る為、小田急電鉄に西口改札の設置を働きかけて頂きたい。（テーマ ）

（2）北沢地域

- ・現行の方針で「近隣商店街街並み改善地区」とされている、明大前駅前の南側、その他いくつかの地区が、たたき台案の方針図では「駅周辺商業地区」に色分けされている。これらの場所はいずれも、「都市整備の基本方針」では「地域生活拠点」の位置づけであり、矛盾しているのではないか。
- ・東日本大震災以降、災害発生時の避難先・避難経路について考えさせられるのですが、火災を逃れ、すぐに出られる大きな道路が一方向にしか考えられません。もし、その方向が何らかの事情で塞がれてしまった場合、どうすればいいのか考えると、とても不安になります。避難経路はその時の状況に応じ、何通か想定しておきたいと思います。

（3）玉川地域

- ・課題の後に目標が書かれるのは逆です。現状の問題点の裏返しのような課題を挙げて、それを単に標題にしたような形で目標～まちの姿を示し、そのための方針を挙げても、現状認識の枠内でしか発想できず、何かが実現しそうだという期待がもてるような計画にはなりにくいでしょう。まずはこれまでの都市整備方針を総括し、実現したこと、実現できなかったことを把握する必要があります。また、計画に何を求めるかあらためて考える必要があります。20年前と同じ認識で同じスタイルの「地域の整備方針」を検討していないかを語点検ください。目標～まちの姿は総花的に表現しないで、優先順位と実現の可能性が伝わるようにし、現状の延長線上ではない目標～まちの姿を描く努力を求めます。
- ・深沢7・8丁目の旧新町住宅地を国分寺崖線などとともにテーマ「みどり豊かで住みやすいまちをつくる」の対象にもすべきです。特に近年、大正時代からの桜並木通りは、大型車両を含めた通り抜け車両が多く良好な住環境が脅かされています。テーマとも関連しますが、住宅地への通過交通の侵入防止やスピードの抑制、交通量の分散により、安全で良好な住宅地の形成、保全を図って頂きたいと思います。

（4）砧地域

- ・地域の目標において、ずばり「みどりとみずと仲よく暮らす街きぬた」を標榜し、区民や事業者の協力を得やすくするため、具体的なガイドラインをつくるなどはいかがでしょうか。
- ・都市部であっても風雨等の大災害に巻き込まれかねない気象の変動が現実のものとなった今日、みどりとみずを自然の象徴として掲げ、自然の機能を見直し・再構築し、自然の機能を最大限生かしていくことが災害を防ぐ上でも重要であり、生活環境として適度に整備されたみどりやみずは住生活の満足度を高め、憧れの世田谷・砧を押し上げていくものと信じます。期待しています。

4 . たたき台説明会の開催結果について

(1) 世田谷地域

【日 時】	【会 場】	【参加者】
9月4日(木) 19:00~20:30	区役所第3庁舎3階ブライツホール	16名
【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・延焼遮断帯は都市計画道路だけでなく公園、河川等も含まれる。記載の仕方について配慮してほしい。また、世田谷と北沢地域は他の地域と比べてみどり率が低いため、民有地だけでなく公共用地としてみどり率を向上させるとともに、保全だけでなく創出を図ると記載してほしい。 ・民生委員が活動する範囲で、外出する範囲が狭い高齢者向けに「ふれあい喫茶」を誘致してほしい。空き家等を活用してはいかがだろうか。 ・高層の建物には貯水槽があるが、これが防災の拠点のようになっているところがある。このことから住宅地に高層のマンションをつくり防災拠点とするとともに、周りの空気を緑化したらどうか。 ・安全で災害に強いまちをつくるために、その一つとして水害を抑制するための雨水浸透施設の設置に関する記載を強く出してほしい。 ・今後予想される住宅の過密化に対する対策を強化してほしい。 ・民有地において、樹木を一宅地一本うえることについて、5年・10年はよいが、20年・30年となると管理が大変である。その対応まで考えておく必要がある。 		

(2) 北沢地域

【日 時】	【会 場】	【参加者】
9月11日(木) 19:00~20:30	北沢タウンホール2階集会室	36名
【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・下北沢駅周辺地区は4本の道路で囲まれ、駅周辺は歩いて楽しめる商店街となっている。そうした所に道路を入れるのは、この状況を破壊することにつながることになる。 ・補助54号線の整備に賛成である。東日本大震災(3.11)で痛感した。たくさんの消防車が一刻も早く入れるようなまちにするには、道路が必要だ。是非、整備を進めてもらいたい。 ・広域避難場所の指定先が目黒区にあり、避難するには木造住宅が密集した市街地を歩いて行かなければならない。大規模な空間だけでなく、小田急線上部など小さな空間でも避難場所にならないか。 ・アクションエリアの地区区分が曖昧だ。北沢五丁目・大原一丁目地区と北沢三・四丁目地区は歴史的な経緯で分かれているが、これから街づくりを進めようという時に、これまでの区分でよいのか。 ・テーマ別方針 に「安全性・利便性や快適性を高める」とあり、たたき台案にあった冒頭の「公共交通の」という記述が削除された。自動車交通のこのように理解できるので、言葉を戻して頂きたい。 ・土地利用の方針における明大前駅周辺の駅周辺商業地区について、都市整備の基本方針に比べ、このたたき台では商業地区の範囲が広がっている。土地利用の方針は、急に変えないで欲しい。 		

(3) 玉川地域

【日 時】	【会 場】	【参加者】
9月9日(火) 19:00~20:45	玉川総合支所 4階集会室	37名
【主な意見】 <ul style="list-style-type: none">・商店街の役割として、地域コミュニティに関する点があげられる。商店街に交流の機能がほしい。・施策やアクションエリアに、予算のことも含めて優先順位を付けるべき。・かつて広域生活拠点であった二子玉川駅周辺地区は今回の改定で、広域生活・文化拠点となった。しかし、方針の中には文化のことが触れられていない。もっと盛り込むべきである。・日本は車社会の大震災を経験したことがない。安全につながることは大切に考えなければならない。幅広の道路についても、慎重に考える必要がある。・若者の参加が少ない。もっと多くの若者が参加できるよう呼びかけてもらいたい。・街が高齢化していく中、住みやすさについて考える必要がある。みどりも大切だが、買い物の利便性とかを考えるべきである。用途地域が硬直化しており、もっとフレキシブルにして欲しい。・宅地が細分化されるとみどりも減ってしまうし、防災上も問題である。・災害対策として、電線類の地中化を進めてほしい。・地域間交通の充実を図るべきである。		

(4) 砧地域

【日 時】	【会 場】	【参加者】
9月10日(水) 19:00~20:30	成城ホール 4階集会室C・D	32名
【主な意見】 <ul style="list-style-type: none">・この地域は緑豊かでいろいろな歴史的な資産もある。区は本気で守るつもりでこれを作っているのか。文章でひとあたりのよいことを書くだけでなく実践してほしい。・東名ジャンクションは6年後に完成予定となっているが、実際には工事の遅れが出ている。完成するまでの7~8年の間、今の状態が継続することになる。その間のことを別枠で反映してほしい。・計画期間は20年、アクションエリアは10年間となっているが、それぞれの課題を一律で括るのではなく、5年以内に実施しなくてはいけないことなど、先行してやるべきことがあるはずだ。・住民が区と一緒に進めていくためには、こういったタイミングで、こういった形がかかわればよいのか、今後の進め方について手引きのようなものがあるとよい。・補助216号線は小田急の高架下までは広いがその先は狭い。何軒か建て替えているがセットバックしていない。建築の許可を出す時にセットバックをさせなければ、計画があっても絵に描いた餅になってしまう。・宇奈根のことが書かれていない。宇奈根は住宅がたくさん建っており、交通が不便な地域でもあり、お年寄りが多い。悠長なことを言っていないで、進めてほしい。		

(5) 烏山地域

【日 時】 9月10日(水)19:00~20:30	【会 場】 粕谷区民センター2階多目的ホール	【参加者】 21名
【主な意見】 <ul style="list-style-type: none">・ 烏山地域のまちの方針として内容に具体性(事業箇所、事業期間、資金計画、事業後の姿など)がなく、人口減少で少子高齢へ向かう時代に適応した20年後のまちの姿が想像できない。総花的で区として何をしたいのか分かりにくい。優先的に対応するものが分からない。・ 将来の目標、テーマ別方針は良いと思うが、大規模な都有地や公共用地、京王電鉄の大規模土地などは、どのような誘導が行なわれどのような姿になるか示して欲しい。・ 方針に沿って街づくりの計画を住民参加で進める際に、どのような区域や方法形で住民参加が出来るのか。商店街の街づくりにおいて、商店街利用者や消費者も意見を言える場があるのか。・ 住宅団地は高齢化と老朽化があるので早急に対応して頂きたい。・ 安全、安心を最優先で考えるとこの区の回答を受け、防災面での対応として具体的にはどんなことに力を入れてを進めるつもりなのか。豪雨被害についてもどの様に対応するのか。・ 30年、40年後に、少子高齢化が進行するなかで道路整備が本当に必要か。それよりもこの10年でやるのが他にあるのではないか。		